

知の冒険教室（仮称）」プレビュー講座 実績報告書

1. 名称 知の冒険教室（仮称）プレビュー講座「物理学への招待（仮称）」
2. 主催 「知の冒険教室」準備委員会
3. 目的 銚子市を高校生の「知的元気力」の発信基地にするための試金石として小規模講座を開催する。
4. 日程 2016年8月9日（火）14:00～16:00（13:30開場）
5. 会場 銚子市立銚子高等学校 多目的ホール
〒288-0814 千葉県銚子市春日町2689番地
TEL：0479-25-0311
6. 講師 江本 伸悟 氏（物理学者、物理学博士）
教育に関して大人が子供に与えることのできる1番のプレゼントは、大人自身が学問を楽しみ、澁刺とした学びの姿勢を見せてあげることだという思いから、この世界を新しい視点から眺めるための「文化としての科学」について講演している。

安田 登 氏（能楽師、銚子ふるさと大使）
銚子市出身。高校時代に甲骨文字と中国古代哲学への関心に目覚める。高校教師をしていた25歳のときに能に出会い、鎗木岑男師に弟子入り。能楽師のワキ方として活躍するかたわら、『論語』などを学ぶ寺子屋「遊学塾」を、東京（広尾）を中心に全国各地で開催している。
7. 当日の受講者数 高校生 8名 一般参観 31名

■当日の流れ■

前説（開催の目的）

1. 講師紹介
2. プレビュー講座開始
3. 銚子市長 越川信一様 ご挨拶
4. 銚子市教育委員会 教育長 石川善昭様 ご挨拶
5. アンケート記入
6. 知の冒険教室準備委員会 松岡明夫より挨拶
7. 閉講

■講義内容■

講師自身が科学を深く学ぶきっかけにもなったという、物が見えなくなる場所、盲点について簡単な実験をすることで、私たちが普段の生活の中で意識していないことの多さに気付くことを入口に、通常人間は 1100 万ビットの視覚情報として得ているにも関わらず、認識している情報はそのうちのたったの 40 ビットであることの不思議さ、「生命」について参加者個々の既成概念を刺激する、新しい視点の提示がなされた。

心の存在、その先にある意識について、人間だけでなく、私たちが知るもっとも小さな生命体、また反対に大きな生命体の存在を改めて見つめなおしながら、江本氏の研究の一端を参観者それぞれに想像を広げながら学んでいった。

講師は、動物、虫、原生生物、植物などにも心があるか、さらに個体だけでなく、例えばムクドリや粘菌などを例にあげながら群れにも心があると考えられるか？さらに、この先に進化し、われわれ人間と同じように意識が宿るのだろうか？宿っているのだろうか？を問いかけながら、国内外の研究成果や動画を交えて論じ、参観者の意識の変化を共有した。

■当日の様子■



■アンケート内容■

<高校生 男子 2年>

生命の幅や心意識の幅（どこまでがもっているか）など日頃考える事が無かったのでとても新鮮な感じで話を聞くことが出来ました。こういう話を聞くとこれからの生活の中での考え方のバリエーションが増えるので参加できて良かったです。次回も楽しみにしています。

<高校生 女子 2年>

今日たくさん話を聞いて、はじめの自分の考えが聞き終わってからガラッと変わった気がします。また、世界がすごく広がったような気がしました。生命っておもしろいなと改めて感じました。

<高校生 女子 2年>

今まで「生命」と言われると、植物までしかあると思っていませんでしたが、今回お話を聞いて新しく考え方を知ることができて衝撃を受けました。今までからいろんな見方が出来るようになりそうです。本日はありがとうございました。

<高校生 女子 2年>

今日は普段考えることのないようなお話を聞くことが出来てよかったです。特に心についてとても興味があります。恋愛感情をもったり、殺意をもつのはどこなのか気になります

<高校生 男子 1年>

ほとんど考えもしなかった話を聞いてよい刺激になりました。

<高校生 女子 2年>

私は、心は脳に宿っていて身体に指令を出していると思っていました。お話を聞いているうちに、心とは何かが分かってくる、心と身体の関係についてもっと知りたいと思いました。群れとしての生命は今まで考えたことが無く、とても興味がわきました。

でもやっぱり脳が身体からの刺激を受け取って身体に指令を送っているというイメージが強くて、なかなか考えがまとまりません。これからの世間の考えも変わっていくと思ったので、もっとこのことについて考えてみようと思いました。

<高校生 女子 2年>

本日はありがとうございました。自然に生命があるとは考えたこともなかったので、様々なことを考えるきっかけとなりました。ダンゴムシの実験の話などを聞いて虫や植物に対して心や意識があるのかもしれないと思いました。そして、心や意識について興味をもつことができました。本当にありがとうございました。

<高校生 女子 2年>

今日まで私は感情というものは脳にあるのだと考えていました。しかし、意識のお話を聞いている時に臓器移植の話思い出しました。Aさんの臓器をBさんに移植したところBさんの味覚や趣味がAさんに似てきたという話です。その話が本当であるならば、確かに心は脳だけにあるわけではないと思います。身体のどこかとは分かりませんが、どこかが心を持っており、それを脳が補助的役割をしているというのが、今回私が講義と思い出した話を合わせて考えた結果です。先生方のお話は聞いていて勉強になるだけでなく考

えるという面白さも学びました。また今度の講義も聞いてみたいと思います。

一般参観者

- ・ごく興味深い話でした。銚子までお出で下さいましてありがとうございました。
- ・すばらしい企画に参加できまして関係者の皆様に御礼申し上げます。「自然の心も進化してそこに意識が宿る可能性はあるのか？」というチラシの文が正直のところ唐突な感じがしていました。講義をお聞きして全く新しい見方を教えていただいた感じです。ダンゴムシの例は可愛らしくムクドリの群の例はダイナミックに（映画「鳥」？）、粘菌の例はグロテスクに群や動物に生命があるのを学びました。寺子屋でずっと難問のテーマ「心」についても大分イメージが豊かになりました。心と意識と脳…興味深く拝聴しました。
- ・心と意識は日頃改めて考えることはなく、まして動物、植物…。少し難しく、考えさせられましたが良い刺激を受けました。心と本能の違いとは？
- ・群れに心があるのかというところに興味を持った。
- ・こんな機会はない、ととても嬉しく必死に話を聞いていました。特に若い人達の心に響いて、伸び伸びと“知の冒険”をして欲しいと思いました。とても有難く、今後も続いて欲しいです。
- ・息もつかせずの2時間超充実した濃いお話をありがとうございました。植物にも生命が宿るということに最近読んだ本から（あるヨギの自叙伝）から関心をもち、特に興味深く聞かせていただきました。自分の知らない世界へグイグイ連れて行って下さったこと、またこのような機会に是非いらして続編を語って下さること心待ちにしております。改めてお礼申し上げます。
- ・群れに心があるとなれば、日本社会とか世界にも心、生命があるのかなあ…。
- ・ありがとうございました。とても楽しかったです！またゆっくり！
- ・普段意識していない事を改めて考えさせていただきました。毎日新鮮な目で物事を見て生活してゆきたいです。
- ・とても面白く聴かせていただきました。高校生がもっと沢山いらっしやれば良かったですね。数学と物理と自然の関係に今とても興味を感じているのでこれからも是非講義を続けていただきたいと思います。心、情緒が科学を学ぶ上で重要な役割を果たすことも若者に知ってもらいたいです。
- ・文にすると難しく書く事ができません…（文章力がありません）。しかし、この講義を聴く機会があり、日常自分の思っている事を改めて確認した気がします。
- ・本日は講義をしていただきありがとうございました。人の認識の変化により、周りの環境に人が及ぼす影響も変わり、社会が変化していくのかと思いました。先生がなぜ物理学者なのかも含めてもっと長い時間お話を聞きたいと思いました。ありがとうございました。

・本能、条件反射、無条件反射 etc. 先生はどうお考えになっているのか知りたいと思いました。“日本語の心” “意識”の意味が正しく理解できているのか不安になりました。もっと聞きたかったです。

・「心」の定義について改めて考えました。

・本日はありがとうございました。私の知識の中では全く理解できない内容でしたが、心が面白く反応していた気がします。現実には夢のような世界のお話ですが平和なればこそのことでした。どうしたら平和な現実が続くのか教えて下さい。伝えて下さい。心を動かせる自分を保ちたいと望んでおりますが…。

・安田先生の講義が好きなので参加しました。壮大なテーマだったので2時間という時間では物足りなく感じました。ただ高校生のために「受験の役に立たない学問」というのは非常に有意義な取り組みだと思います。ぜひシリーズ化していただきたいです。

「知の冒険教室」準備委員会

連絡先：NPO 法人 BeCOM

〒288-0041 千葉県銚子市中央町 12-13

Tel 0479-25-8870 Fax 0479-26-3292

Email info@be-com.jp